

グリー株式会社
東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
<http://corp.gree.net/jp/ja/csr/>

2020年9月発行



OUR ACTIONS

CSR Report

VOL.07



グリーが続けていく、 未来へのACTION

“新しい生活様式”がスタートした2020年。
大きく変化した世界をつなぎ続けたのは、さまざまなインターネットサービスでした。

「インターネットを通じて、世界をより良くする。」
このミッションを果たすため、グリーはこれまでさまざまなアクションを行ってきました。
インターネット上のコミュニケーションが、人々にとってさらに身近になった今、
まだ見ぬ新たな可能性に思いをはせながら、
より便利で豊かな社会のためにできることを、
グリーはこれからも探し続けます。



- インターネット産業の強化と発展
学びにエンターテインメントを P.04
- 安心安全なインターネット社会の構築
「リモート」で伝える情報リテラシー P.06
- CSRマネジメントより:情報セキュリティ特集 P.08
- 企業市民として社会の発展に貢献
「オンライン」は最良のサポート P.10





インターネット産業の強化と発展

学びに エンターテインメントを

2019年度「千葉大学×グリー」共同授業

グリーでは、主力事業である「ゲーム」「エンターテインメント」を活用した社会貢献活動を行っています。2013年にスタートした千葉大学教育学部との共同授業では、「教育におけるITの活用」を担う教員育成をテーマに、学生たちへの支援を行っています。

2019年度は、グリーのグループ会社である株式会社Wright Flyer Live Entertainment が提供するアバターコミュニケーションサービス「REALITY」を活用した授業づくりを展開しました。

10月からスタートした演習初回に示したテーマは「VTuberの活用」と「小学生への授業」の2つだけ。最初は戸惑いながら参加していた学生も、実際にサービスに触れ、さまざまな教育事例を知っていく中で、互いに意見を出し合い、授業のイメージをつくり上げ、チームとしても成長していきました。

演習のまとめとして、千葉大学教育学部附属小学校で行われた実証授業では、小学6年生が“精霊”というキャラクターを演じ、5年生にクイズを出題するという体験型の学習ゲームを実施。子どもたちの笑顔があふれる、印象的な授業となりました。

自分とは違うキャラクターに成り代わり、クイズを出題し、交流を図ることは、小学生にとって「表現力」や「コミュニケーション力」を身につける絶好の機会となりました。

大学生には、ゼロから企画をつくり上げることの大変さを学ぶとともに、最新技術を教育現場で活用する方法を主体的に考える、貴重な機会になったようです。



大学生が小学生向けに説明動画を作成。大学生自身もVTuberを体験し、背景の作成や動画の編集まで行いました。

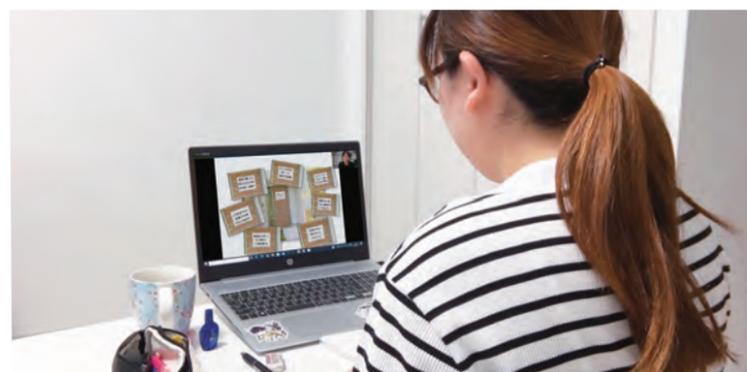


実際に小学6年生の子どもたちが作成した“精霊”。小学生自身が興味を持ったテーマごとに7班に分かれ、精霊のキャラクター作成やテーマに沿ったクイズ作成を行いました。テーマは「宇宙」「読書」「音楽」「AI」「ロボット」「スポーツ」「動物」

「リモート」で伝える 情報リテラシー



講演を行った京都芸術デザイン専門学校



自宅から参加してくれた学生の様子

京都芸術デザイン専門学校に通う未来のアーティストたちへ

ITには教育を止めない力がある

2020年、グリーの出張講演は大きな転機を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大、それに対応する新しい生活様式により、講演スタイルが大きく変化したのです。同じ場所に集まっていた講演は2月14日をもって休止。休校措置や緊急事態宣言といった未曾有の状況下で「私たちに何ができるのか」を模索、最後に辿り着いたのは、やはり「IT」でした。

リモート会議システムなど複数のITツールを組み合わせ、誰でも自宅から講演を聴き、質問できる、そんな仕組みを構築することで、講演活動を徐々に再開しました。

京都芸術デザイン専門学校では、毎年、新入生を対象にグリーの講演を実施しています。今年はアートの未来を担う若者たち数百人が、さまざまな場所から講演に参加してくれました。

参加者の声



河畑 未来さん

私はインターネットが玄関の外側である・玄関のドアに貼ってよいものはSNSにも投稿してもよいという考え方を知ることができました。これまでインターネットを不必要に怖がっていましたが、お話を伺い正しい怖がり方を知ったことで、今後のインターネット利用に生かしていきたいと思いました。



松本 武留さん

これまでネットの危険性について、どこか現実性がなく、自分事として考えていませんでした。しかし、実際に起きた事例を聞き、自分が軽率なSNSの使い方をしていたと痛感しました。SNSはただの道具であり、使い方を誤れば人生を棒に振る可能性があり、自分にも起こりうる。このことを意識し、今後の制作活動に生かしていきます。



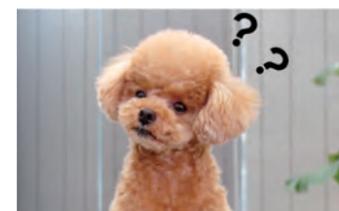
浅瀬 ゆういさん

ネットの怖さは知っていたつもりでも、具体例を簡潔に言われるとよりゾッとしました。また、アンチ表現は絶対なくなることはない自由なものだから、認めるべきということはその通りだと納得ができました。その怖さを意識することが、これからネットを有効活用し成長するためには重要だと強く感じました。



京都芸術デザイン専門学校 教員 磯田 安宏先生

毎年、情報モラル講座をお願いしており、年々その必要性を感じています。学生のSNS経験値は高く、SNS上での振る舞いに何となく「自分は大丈夫」があったかもしれません。クリエイティブ活動での情報収集・発信にはネットが不可欠です。講座を通して、根拠ある「大丈夫」を意識したネット活用に繋がると考えます。



グリーではオンラインでの講演に加え、同内容の動画コンテンツとして「ティルと学ぶ 正しく怖がるインターネット」を制作、無料で公開しています。



また、先生方が実際のネット炎上の授業を行うための情報モラル教材「事例に学ぶ情報モラル」を制作。中高生版と小学生版の2種類を冊子形式及びデータ形式で無料配布しています。

CSRマネジメントより:

情報セキュリティ特集

安全なインターネット環境のための取り組み

インターネットは、さまざまなサービスが普及したことで、私たちの生活をより便利で快適なものにしました。その一方で、インターネットを利用した犯罪行為も増え、その手口は年々多様化・巧妙化しています。グリーではお客様にサービスを安全に活用いただけるよう、セキュリティ向上のための取り組みを実施しています。



情報セキュリティ報告書 2020を公開

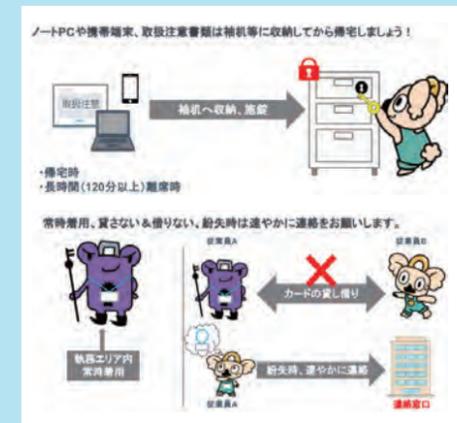
2020年1月に、グリー初となる情報セキュリティ報告書を公開。グリーグループが推進する情報セキュリティの取り組みについて紹介しています。

掲載内容

- ・情報セキュリティ統括管理責任者メッセージ
- ・情報セキュリティガバナンス
- ・情報セキュリティ対策
- ・情報セキュリティに関するコミュニケーション

情報セキュリティを啓発するキャラクター“リティ”

グリーグループの従業員が情報セキュリティ対策のルールや、インシデント発生時の通報・初動対応の手順について正しく認識し行動できるよう、eラーニングや情報セキュリティコラムの掲載を行っています。各資料や記事には“リティ”とその仲間たちが登場し、情報セキュリティ部門の活動の紹介や、情報セキュリティに関するさまざまな話題をわかりやすく解説することで、情報セキュリティへの関心を高めるとともに、情報セキュリティ部門へ気軽に相談できる雰囲気づくりに取り組んでいます。



リティ

脆弱星（ぜいじゃくせい）出身。次期セキュリティ大臣になるため日々奮闘中



スレート

不星（ふせい）出身。リティの邪魔をして脆弱星をつぶそうと企んでいる



関守(せきまもる)

リティがセキュリティ対策を学ぶため入社したグリーの2020年新入社員



グリーの「情報セキュリティ」が目指す未来

開発本部 セキュリティ部 部長 奥村 祐則

セキュリティ部では、グリーグループ全体に目を配り、悪意をもったサイバー攻撃を受けていないか、お客さまに提供するサービスにセキュリティ的な弱点がないか、また、社内では適切に情報が取り扱われているか、セキュリティに関するルールは理解されているか、といった様々な「セキュリティ活動」を日々行っています。よくあるセキュリティ「対策」とは呼ばず「活動」と表現しているのは、誰かが「対策」を講じてくれたらOKというものではなく、自分ごととして「活動」していかないとセキュリティというものは向上しない、という想いからです。そしてその「活動」を続けることで、従業員一人一人の、グリーグループが提供するサービスの、ひいてはインターネットのセキュリティ向上につながるものと信じています。

サイバー防災※への参画

2020年6月に実施された、業界を横断した「サイバー防災」への取り組み。グリーは「海賊版アプリ」を利用しないようにするための啓発をテーマに、楽しく学ぶことができるコンテンツを用意。インターネットセキュリティのグリーオリジナルキャラクター「リティとその仲間たち」が登場する漫画とバーチャルYouTuberのKMNZによる動画を公開しました。

※「サイバー防災」は、インターネット事業者と通信事業者の9社が参画し、利用される皆様にインターネット上の防災意識を高めていただくことを目的とした取り組みです。6月9日を「サイバー防災の日」としてLINE株式会社が制定し、外出時に家の鍵をかけるように、インターネット上でも防犯意識を持つ（鍵をロックする）必要があることを啓発する日としています。



企業市民として社会の発展に貢献

「オンライン」は 最良のサポート



グリービジネスオペレーションズ、コロナ禍での取り組み

一人ひとりが働きやすい環境づくりを

グリーグループは、2020年3月下旬から「オンラインオフィス勤務※」をスタートしました。グリー特例子会社である「グリービジネスオペレーションズ(GBO)」は、勤務する社員の約7割に発達障がいがあります。発達障がいの特性からオフィスに通勤し、勤務することに困難を抱えている社員が多く自宅を、仕事場として選択できることは、GBOが目指す「自身の能力を最大限に発揮でき、仕事を通じて自律的に

成長し続けられる会社を創る」という考え方に沿うものでした。一般企業と比べ、GBOがオンライン勤務に移行するには、解決すべき課題が多くありましたが、これまで一人ひとりの特性に応じた環境づくりに取り組んできた経験を生かし、コロナ禍という環境変化をポジティブに捉え、短時間で体制を移行させることができました。特例子会社として、非常に先進的な取り組み事例となります。GBOは、今後もオンラインオフィスと物理的な出社を両立し、社員が能力を最大限に発揮できるよう取り組んでいきます。

※オンラインを活用したリモート勤務



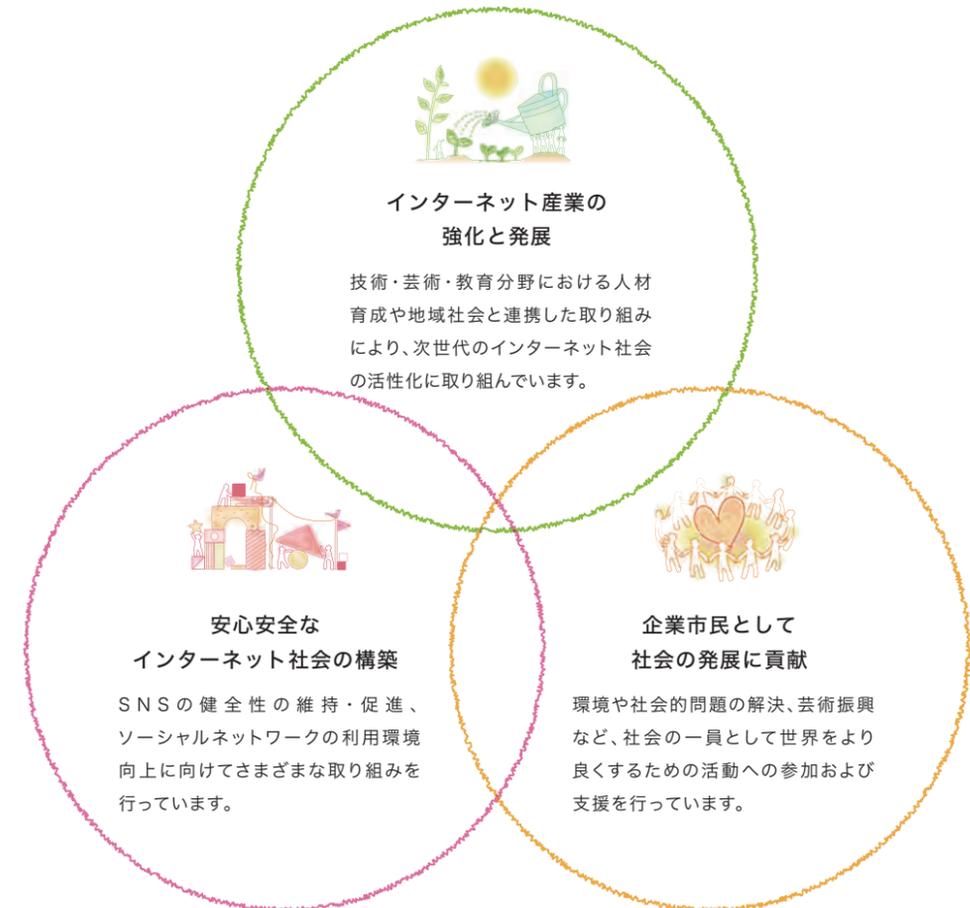
第6回 GOOD ACTIONアワード ワークスタイルバリエーション賞受賞

グリーおよびGBOは、リクナビNEXTが主催する「第6回 GOOD ACTIONアワード※」において、働き手のバリエーションを多様化することに貢献した取り組みに贈られる「ワークスタイルバリエーション賞」を受賞しました。

※働くあなたが想いを持って始めた取り組みがきっかけとなり、イキイキと働ける職場の共創へとつながった事例に光を当て、応援するアワード。

グリーが考える3つのこと。

グリーは、より良く社会に貢献できる姿を追い求める中で、3つの柱を設けています。「インターネットを通じて、世界をより良くする。」という企業理念のもと、CSR活動を通じて、利益を社会全体に還元し社会との関わりを大切にしながら、社会の健全な持続的発展のために活動を続けていきます。



グリー株式会社
代表取締役会長兼社長
田中 良和

Top Message

「インターネットを通じて、世界をより良くする。」
そのために、グリーができること。

2020年は、新型コロナウイルス感染拡大という、未だ経験したことのない社会の激変に対し、柔軟な思考が求められる時代の「始まり」かもしれません。そのような局面において、インターネットはその力を最大限に発揮することで、社会の活動を止めないための大きな役割を果たしています。同時に、「インターネットを通じて、世界をより良くする。」というグリーの企業理念もその本質を問われ、社会に果たすべき私たちの役割・責任がさらに大きくなっていると感じています。

私たちは、多くのステークホルダーとの関わりを築きながらこれまで成長を遂げてきました。これからも企業市民の一員として、役割や責任を自覚し、インターネット産業の発展とさまざまな社会的課題の解決に対して継続的に取り組んでいきます。